

冷たい
山入端市政から
暮らし守れ!

下水道料金値上げをやめ、暮らし守って!

日本共産党

下水道料金値上げ条例と請願の経過について

2022年 2月24日	市が10月から25%下水道料金を値上げする議案を上程
3月1日	下水道料金値上げ案を日本共産党が「羽曳野民報」に掲載して市民に配布
3月14日	市がウクライナ侵略による影響を理由に10月の施行期日を2023年4月に変更する修正案を提案
3月30日	日本共産党は反対したが修正案可決
2023年 1月6日	「下水道使用料金値上げ反対、暮らし守ろう市民の会」結成。請願署名をスタート
2月20日	2747筆の請願署名を議長あて提出
3月27日	委員会に付託され審議の結果不採択意見多数
3月30日	最終到達数3213筆の値上げ中止の請願は不採択



下水道使用料金値上げ中止を求める請願を提出する市民の会のみなさん

暮らしを追い詰める25%という大幅な下水道使用料の値上げはやめてほしいという切実な願いから、3213筆もの署名が議会へと届けられました。

党議員団は、自治体として今優先すべきことは、物価高騰対策を行うことであると指摘し、市民生活を守るために値上げを実施しないことが、一番の物価高騰対策になると主張しました。

市民の願いを重く受け止め、この請願に込められた切実な願いに応えるべきであるとして党議員団は、採択としましたが、反対多数で不採択となりました。



請願者の声

市民の切実な声である請願に対して、反対する委員は、値上げについて「仕方がない」「苦渋の決断」の一点張りでした。また、下水道使用料25%値上げしても、2か月で約500円、ひと月にして約250円しか増えないなど、あたかも小さい値上げ幅の様に論じ、物価高騰にあえぐ市民生活の実態には背を向けていると感じました。



3213筆の願いが
つまった署名

市は、下水道使用料のさらなる値上げを明らかにしています。

日本共産党は、市民の皆さんとご一緒に市民の暮らしを守る市政に転換させるために全力を尽くします。

大阪府が行う国民健康保険完全統一化

保険料の異常な値上げは暮らしを壊す

保険料6年間で1人あたり約3万円も値上げ

大阪府は2024年に向け国民健康保険の完全統一化をすすめ、市町村に対して独自減免の廃止と保険料の統一化を迫っています。

これによって、羽曳野市は、障害者に対する独自減免が2023年度で終了する予定で、2023年度も保険料が大きく値上がりしました。これまで貯金として積み上げてきた基金約11億円のうち7000万円しか保険料を下げるために使いませんでした。これによって一人当たりの保険料が前年度と比べて約1万3000円、この6年間で約3万円も値上がりしました。

2024年度完全統一化は中止を

日本共産党は、物価高騰で暮らしが大変な時だからこそ、保険料の値上げをするべきでないと訴え、府内完全統一化については、2024年にこだわらずに各自治体の状況を考慮して対応すべきであると強く求めました。

この6年間の一人当たり国民保険料の推移



